

液体マンガン

保証成分：水溶性マンガン 13.5%

液体の硫酸マンガンです。液体ですから水に溶かす手間が省け、希釈が簡単です。



1kg入りポリ容器(約730mL)
(比重:約1.37)

【使い方】

○硫酸マンガン ($MnSO_4 \cdot 5H_2O$) 0.5%相当液の作り方

- ・液体マンガン7.3mL(約10g)を水で1Lに希釈する。
- ・液体マンガン730mL(1本・約1kg)を水100リットルに希釈する。

○硫酸マンガン ($MnSO_4 \cdot 5H_2O$) 0.25%相当液の作り方

- ・液体マンガン365mL(0.5本・約0.5kg)を水100リットルに希釈する。

【使用例】

ぶどう

	使用時期	使用濃度と処理方法	調整方法
軽度障害園	2回目ジベレリン処理時	ジベレリン処理液に0.5%で加用し、花房浸漬処理する	ジベレリン処理液1リットルあたり7.3mL加える
重度障害園 (2回処理)	2回目ジベレリン処理の2～3日前	0.25%液を10aあたり200リットル散布	水200リットルあたり730mL(1本)加える
	2回目ジベレリン処理時	ジベレリン処理液に0.5%濃度で加用し、花房浸漬処理する	ジベレリン処理液1リットルあたり7.3mL加える

もも

	使用時期	使用濃度と処理方法	調整方法
春の散布(主に落蕾防止と玉張り良化)	1回目 5月上旬～5月中旬	0.25%液または0.5%液を10aあたり200～300リットル散布	水200リットルあたり730mL(1本)0.25%液、もしくは1,460mL(2本)0.5%液
	2回目 5月下旬～6月上旬		
秋の散布(主に落蕾防止)	1回目 9月下旬 落葉前	0.25%液または0.5%液を10aあたり200～300リットル散布	
	2回目 10月上旬		

すいか

	使用時期	使用濃度と処理方法	調整方法
軽度障害発生園	開花期～果実肥大期に2～3回散布	0.25%液を10aあたり200～300リットル散布	水200リットルあたり730mL(1本)

【荷姿】 1kg(ポリ容器)×10本(1ケース)